ニッポン美人化計画

Text: Ryoko Kobayashi

MAKE-UP: UDA

MISSION
101
2018.5

PHOTO: Shunya Arai (YARD)
STYLING: Itsumi Takashina
HAIR: KANADA (LAKE TAJO)

クールなカラーレスメイク。キラっとした質感をプラスすれば、思わず吸い寄せられる色気も備わります。

ガウン¥価格未定(ジェフリー ビー スモール | ジャーナル スタンダード ラックス 表参道店)／レースガウン ¥16,000(ヴィオレット ルーム)／タンクトップ ¥9,000(セブン ルームス | クォータリー 青山店)

今月のミューズが生まれるまで

長浜優奈さん
「EditReal」エディター
2018. 3. 7 at Shirokanedai
Photo: UDA

撮影に赤いロングセーターで現れた長浜さん。すっぴんで服を着こなすこなれ感や編集者というプロフィールからUDAさんが受けた印象は、知的なファッションを好む人。
「そんな人だから、ちょっと早めのトレンドもぴったりはまるのではないかと。今気になっている静かな色気をテーマにしてみました」(UDAさん)
最初に決めたのは、彩度を落とした血色レスなリップメイク。
「シルバーのパウダーを仕込み、温度感を抑えたグレー系に。スタイリングした小花柄の服のフェミニンさを凛とさせます」(UDAさん)
目元も同様に色を抑えてブラウンをベースに。瞼中央にはシルバー、睫毛には光沢ブラウンと、メタリックな質感をちりばめた。
「質感のさりげない違いを利用することで、パッと見に目立たないけれど、惹きつけられるポイントができあがります」(UDAさん)

リップメイクは、下地にシルバーのパウダー(1の中央)を指で薄く塗り、上からごく薄いラベンダーのリップカラー(3)を重ねて、グレイッシュな色合いに。目元は、マットなブラウンをアイホール全体と、目頭側は鼻筋の脇までノーズシャドウのように塗る。上瞼中央はブルー(1の左上)、シルバー(1の中央)の順に重ね、シルバーのみ小指で下睫毛の生え際にも塗る。上下の睫毛には、艶やかなブラウン(2)を。ファンデーションは塗らず、鼻の周りなど赤みが気になる部分にコンシーラーを使う。鮮やかなピンクのチークを頬の高い位置や頬の凹んでいる部分に入れ、ナチュラルな肌に。ネイルは、ほのかに女っぽさを感じるプラム(4)をセレクト。

4 3 2 1

1: 夏の光に映える5色。左上のグレイッシュブルー&中央のシルバーを使用。パレット アーバンエスケープ ¥7,900 ＊5/1限定発売(イヴ・サンローラン・ボーテ)
2: ビニールのような光沢感。マスカラ ヴィニルクチュール #4 ¥4,400(イヴ・サンローラン・ボーテ)
3: 透け感のあるシアーラベンダー。リップスティック #9412 ¥3,300 ＊5/18限定発売(NARS JAPAN)
4: 透明感がありながら、深みもたたえたプラムカラー。ヴェルニ ロング トゥニュ #628 ¥3,200(シャネル)

UDA

メイクアップアーティスト。雑誌・広告のファッション&ビューティや著名人を手がけるほか、舞台のメイクプランニングも。本企画ではディレクションから担当。作品のアーカイブも見られるHPがオープン！ uda-kesho.com/top

美人化は次のステージへ！ GINZAでの「ニッポン美人化計画」は今回で最終回。ありがとうございました！ 今後は、GINZAを卒業し、形を変えた新たなプロジェクトとして始動します。詳しくは、mekashi.jpへ。